



平成26年3月4日

「持続可能な開発のための教育（ESD）」愛称公募について

このたび、文部科学省及び環境省は、「持続可能な開発のための教育（ESD¹）」をより身近に感じてもらうため、「みんなでつくる みんなにわかる『持続可能な開発のための教育（ESD）』愛称公募」を開始します。公募を通じて親しみやすく、覚えやすいESDの愛称を設けることで、平成26年11月に我が国で開催される「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」（国連教育科学文化機関（ユネスコ）と日本政府の共催）の成功及びそれ以降のESDの推進に向け、国内におけるESDの理解の促進を目指します。（同時発表 環境省）

1 ESDとは、Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略称

1. 公募の概要

(1) 目的

国内におけるESDの理解促進をはかるため、国民に対して親しみやすく、覚えやすい『ESD（持続可能な開発のための教育）』の愛称を公募する。また、公募のプロセスそのものを、広く一般国民にESDへの関心を高めてもらう機会となることを目指す。

(2) 主催：文部科学省及び環境省

(3) 応募期間 平成26年3月4日（火）～4月25日（金） 必着

(4) 応募方法等

ESDストーリーブック『ESD QUEST』を読み、ESD（持続可能な開発のための教育）を覚えやすく、親しみやすく表現した15文字以内の愛称を応募すること。

応募方法の詳細については別添の公募要領または専用公募サイトを参照のこと。

URL：<http://www.esd-jpnatcom.jp/aisho-boshu/>



2. 今後のスケジュール

平成26年3月4日(火)～4月25日	公募
平成26年5月上旬	審査
平成26年5月下旬	発表・受賞式

(参考)

E S Dとは ～あなたの毎日が、未来になる。～

E S Dは、Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)の略です。

E S Dとは、現代社会における地球規模の課題(環境・貧困・人権・平和・開発等)を自らの問題として捉え、身近なところから行動をおこす力を身につける(think globally, act locally)ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルグ)」で我が国がE S Dの重要性を提唱し、これを受け、同年、国連第57回総会決議により、2005年から2014年までの10年を「国連E S Dの10年」とし、ユネスコが主導機関に指名されました。

持続可能な開発のための教育(E S D)に関するユネスコ世界会議について

今年は、「国連E S Dの10年」の最終年にあたります。「E S Dに関するユネスコ世界会議」は、ユネスコと日本政府の共催により、ユネスコに加盟している195カ国から閣僚を含むE S D関係者が参加する会議であり、「国連E S Dの10年」を振り返りつつ、E S Dのさらなる推進方策について議論する予定です。

(1) 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合(愛知県名古屋市)

日程：11月10日(月)から12日(水)

11月13日(木)フォローアップ会合

会場：名古屋国際会議場

(2) ステークホルダー²の主たる会合(岡山県岡山市)

ユネスコスクール世界大会

日程：11月6日(木)から8日(土)

会場：ホテルグランヴィア岡山

国立大学法人岡山大学

ユース・コンファレンス

日程：11月7日(金)

会場：岡山国際交流センター

持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議

日程：11月4日(火)から7日(金)

会場：岡山コンベンションセンター

2 ステークホルダーとは、国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPO等を想定

ESDストーリーブック『ESD QUEST』

小学校高学年の児童から大人まで理解できるよう、可愛いキャラクターを用い、ロールプレイング形式にてESDを分かりやすく説明するストーリーブックを作成し、ユネスコスクールを含む、学校関係者、ESD関係イベント出席者等に約13,000部配付いたしました。



<担当> 国際統括官付

担当者役職名 国際統括官補佐 本村宏明（内線 2595）

担当者役職名 ユネスコ振興推進係長 江幡忍（内線 2602）

電話：03 - 5253 - 4111（代表）

03 - 6734 - 2595（直通）

FAX：03-6734-3679